

青山同窓会報

《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635

新潟県立新潟高等学校内

TEL 025-266-5268

FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

敦井 榮一

《印刷所》

株式会社第一印刷所

〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18

TEL 025-285-7161

FAX 025-282-1776

ご挨拶

青山同窓会会長

敦井 榮一 (69回)

61卒



青山同窓会の会員各位におかれましては、コロナ禍が長引く大変な状況にありながらも、お健やかにお過ごしのことと拝察いたします。

まずもって、コロナ禍の最前線で奮闘努力されている同窓会会員をはじめとする全ての医療従事者の皆様方に深く感謝の意を表します。

さて、新潟市内に限らずコロナ

の感染拡大が収束せず、市内の飲食・観光関連業をはじめとする多くの方々が影響を受けている状況にあります。経済活動の停滞という窮地を克服していくためには、各人が前向きな気持ちをもって、できる範囲の活動を地道に続けていくしかありません。

今般のコロナ禍からの回復に限らず、長期的に地域の活力を維持していくためには、人材の流出を少しでも減らすことが肝要であります。私は同窓会長として、毎年の卒業生に対して、進学や就職で新潟を離れても、いつの日か地元に戻って新潟の発展のために貢献して欲しいと呼びかけています。しかし、呼びかけるだけでは無責任であると感じたしております。同窓会会員の多くの方々がいろ

いろな面で会社経営に携わっているとあります。後輩の皆さんが故郷に戻ってきたくなるような魅力のある企業そして地域になるよう、各々が立場立場で共に頑張ってくださいませ。

新潟高校は来年2022年に創立130周年を迎えます。母校からは周年記念事業として、最新鋭のデジタル機器の導入をはじめとする在校生の学習環境の整備のための諸々の要望が寄せられており、これらの要望を実現するための財源となる寄付金集めの準備を6月から始めました。この同窓会報に募金趣意書を同封して皆様方に寄付のご協力をお願いしております。社会・経済の先行きについては不透明な状況にあることは十分承知いたしておりますが、後輩諸君の飛躍を支える環境整備のために、多くの皆様方からご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ワクチンが広く国民に行き渡っておらない状況を鑑み、本年7月に予定しておりました同窓会総会、同窓会役員と協議して、昨年

に引き続き2年連続で中止することになりました。

コロナ禍は必ず収束していくはずであります。来年の創立130周年を皆様方とともにお祝いできることを楽しみにしております。

令和3年青山同窓会総会の中止のご案内

青山同窓会会長

敦井 榮一 (69回)

61卒

日頃は同窓会活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

例年7月に開催している青山同窓会総会について、開催に向け検討を進めておりましたが、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せない状況にありますので、感染拡大を防ぐとともに、皆様の安全を最優先に考え、4月の役員会において、本年も青山同窓会総会をやむなく中止することを決定いたしました。

青山同窓会会則によりまず、毎年1回総会を開き、会務の報告を行うとともに、前年度の決算について承認を得なければならぬとあります(会則7条、12条)。

そこで、役員会で協議した結果、まずは、①令和3年度の会務報告書、②監事3名の適正意見が付き、

令和3年度は、新年会を開催できず、臨時総会単独での開催となりましたが、声高らかに「丈夫」を絶唱できる日を切望しつつ、会員の皆様には、何卒、ご理解、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

新潟高校創立百三十周年記念事業のご案内は最終ページ(12ページ)に掲載しています。

★ 青山同窓会の書籍等のご案内 ★

新潟高校 120 周年までの歴史を編纂した書籍や校歌・応援歌を収録したCD等をご希望の同窓会員にお分けしております。事務局までご連絡ください。

『青山百二十年史』書籍(CD-ROM付き)	10,000円
『青山同窓会 百二十年名簿』	5,000円
校歌・応援歌CD	1,000円

※すべて送料込み、料金振込手数料別途

青山同窓会事務局のご案内

在室時間 月～金曜日(祝日・入学試験期間等を除く)
午前10時30分から午後3時30分まで
(業務内容によっては留守になることもあります)

TEL/FAX 025-266-5268

E-mail niigata_aoyama@yahoo.co.jp

総会審議資料

令和2年度青山同窓会会務報告

令和2年

- 4月6日 同窓会令和元年度会計監査 午後1時30分より
- 4月13日 青山同窓会役員会 午後6時30分より
- 1 令和元年度会務報告及び決算について
 - 2 令和2年度会務計画及び予算について
 - 3 新潟高校創立百二十周年記念事業収支報告について
 - 4 がんばれ青山収支報告について
 - 5 令和2年度総会について
- 4月27日 会報編集会議（広報委員会） 午後6時30分より
- 7月10日 青山同窓会報 第111号発行
- 8月26日 青山同窓会四役会議
- 9月15日 会報編集会議（広報委員会） 午後6時30分より
- 11月26日 青山同窓会四役会議

令和3年

- 1月1日 青山同窓会報 第112号発行
- 2月25日 青山同窓会臨時総会
ホテルイタリア軒 午後2時より
- 出席者 24名
- 議 事 1 令和元年度会務報告及び決算について 原案通り承認
- 2 令和2年度会務計画及び予算について 原案通り承認
- 報 告 1 新潟高校創立百三十周年記念事業について
- 2月25日 青山同窓会臨時役員会 午後2時30分より
- 1 青山同窓会名簿について
 - 2 青山同窓会会則について

令和2年度青山同窓会収支決算書

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日) (単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
入会金収入	720,000	717,400	2,600	1年生 1人 800円×365人 2・3年生 1人 600円×709人
会費収入	6,000,000	5,915,652	84,348	同窓会年会費 1口1,000円
総会収入	0	0	0	
新年会収入	1,200,000	0	1,200,000	
雑収入	1,000	17,533	△16,533	校章バッヂ代金、名簿代金、預金利子
収入合計	7,921,000	6,650,585	1,270,415	
総会費	0	33,000	△33,000	
新年会費	1,200,000	0	1,200,000	
人件費	1,250,000	1,253,464	△3,464	職員1人給料、交通費、社会保険料
通信費	1,600,000	1,425,175	174,825	会報、総会中止案内、各期幹事会中止案内発送料金、振込料金、電話料金、料金後納利用代金
印刷費	500,000	611,424	△111,424	総会中止案内、決算書、予算書、封筒、振替用紙、はがき印刷代
慶弔費	100,000	53,000	47,000	離任職員饗別
広報費	1,200,000	1,041,598	158,402	年2回発行会報印刷代、学校案内掲載広告代、ホームページ契約料
会議費	600,000	31,200	568,800	
旅費	450,000	1,240	448,760	
卒業生記念品費	300,000	251,328	48,672	
補助費	910,000	310,000	600,000	クラブOB会補助、学校行事補助
母校支援費	130,000	122,365	7,635	がんばれ青山寄付100,000、卒業生連絡ハガキ
退職積立預金	100,000	100,000	0	
諸費	250,000	182,279	67,721	光熱水費、消耗品費
予備費	3,028,056	0	3,028,056	
支出合計	11,618,056	5,416,073	6,201,983	
収支差額	△3,697,056	1,234,512	△4,931,568	
前期繰越金	3,697,056	3,697,056	0	
次期繰越金	0	4,931,568	△4,931,568	

令和3年4月6日 上記の通り相違ないことを確認致します。

監事 富山修一
監事 遠見和宏
監事 若槻良宏

令和3年度青山同窓会会務計画（案）

令和4年 2月17日（木）臨時総会・新年会

令和3年度青山同窓会収支予算書（案）

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日) (単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
入会金収入	720,800	720,000	800	1年生 1人 800円×364人 2・3年生 1人 600円×716人
会費収入	6,000,000	6,000,000	0	同窓会年会費 1口1,000円
新年会収入	660,000	1,200,000	△540,000	1人 6,000円×110人
雑収入	1,000	1,000	0	預金利子
収入合計	7,381,800	7,921,000	△539,200	
総会費	200,000	0	200,000	会場費
新年会費	660,000	1,200,000	△540,000	
人件費	1,250,000	1,250,000	0	職員1人給料、交通費、社会保険料
通信費	1,600,000	1,600,000	0	会報発送、総会、役員会案内郵便料金、振替料負担金、電話料金
印刷費	500,000	500,000	0	封筒、振替用紙、案内状印刷代、データメンテナンス代
慶弔費	100,000	100,000	0	慶弔電報、香華料、離任職員饗別
広報費	1,200,000	1,200,000	0	年2回発行会報印刷代、学校案内掲載広告代、ホームページ契約料
会議費	600,000	600,000	0	
旅費	450,000	450,000	0	東京、関西、東北同窓会総会、県内高校同窓会長有志懇談会出席旅費
卒業生記念品費	300,000	300,000	0	
補助費	910,000	910,000	0	東京同窓会補助100,000、関西同窓会補助100,000、東北同窓会補助100,000、通信制部会補助50,000、クラブOB会補助、青陵祭補助、学校行事補助
母校支援費	130,000	130,000	0	がんばれ青山寄付、卒業生連絡はがき代
退職積立預金	100,000	100,000	0	
諸費	250,000	250,000	0	光熱水費、消耗品費
予備費	4,063,368	3,028,056	1,035,312	
支出合計	12,313,368	11,618,056	695,312	
収支差額	△4,931,568	△3,697,056	△1,234,512	
前期繰越金	4,931,568	3,697,056	1,234,512	前年度繰越金
次期繰越金	0	0	0	



令和2年 青山同窓会臨時総会報告

桑野 一美 (97回) 89卒

例年7月に開催していた青山同窓会総会・懇親会はコロナ禍で開催できず、年明け2月25日(木)にイタリア軒で臨時総会のみ単独開催となりました。

時節柄、感染対策を徹底した形での開催となり、出席者は事前登録いただいた24名の非常にコンパクトな会となりました。

冒頭、敦井会長から臨時総会開

催の経緯を含めてご挨拶いただき、続いて敦井会長が議長に就かれ、令和元年度会務報告及び決算、令和2年度会務計画及び予算、と議事が進行し、いずれも満場の拍手をもって承認されました。最後に司会の吉田徳治幹事長(83回)から「創立百三十周年記念事業」について今年度から実質的な準備着手を行う旨報告がありました。

東北青山同窓会総会について

今年の総会の開催等については、コロナ禍の状況も踏まえて検討いたします。

決まりましたら、ダイレクトメール、フェイスブックグループページ等でお知らせいたします。

新潟県立新潟高等学校創立百二十周年 記念事業収支報告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

(単位: 円)

科 目	決算額	主な内訳
雑収入	17	預金利子
収入合計	17	
備品費	358,049	デスクトップ PC、一太郎 2019 アカデミック版、ワイヤレスマイク 5 個、8 インチタブレット 3 台、タブレットスタンド 3 台、USB 充電器 3 個、ソフトバンク Wi-Fi
支出合計	358,049	
収支差額	△ 358,032	
前期繰越金	2,227,771	
次期繰越金	1,869,739	

青山同窓会通信制恩師を囲む会 延期のお知らせ

令和3年度開催予定でしたが、感染症対応として来年度に延期します。現時点での予定は以下の通りです。

日時: 令和4年6月19日(日) 12時～

会場: 新潟東映ホテル

新潟市中央区弁天2-1-6 TEL 025-244-7101

会費: 6,000円

問い合わせ: 中村 090-4076-8987

笹川 090-6272-7939

岡田 080-5450-5493

がんばれ青山

～応援募金についてご案内～

日頃は同窓会活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

全国大会へ出場し活躍を続ける現役生を支援するため、募金口座を開設しました。引き続き、「がんばれ青山」へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■郵便振替口座

00510-4-52617 がんばれ青山

■第四北越銀行

本店営業部 普通口座 5054323 がんばれ青山

○お取引明細表が領収証となります。

○お名前に併せて卒回もご記入ください。

・第四北越銀行ATM画面では「御依頼人指定」にて操作できます。

・ゆうちょ銀行ATM画面では金額入力後の「ご確認ください」の画面で操作できます。「口座名義で送金します」で「いいえ」を選び、手入力で下記のようにご入力をお願いします。

・ご自身のお名前の前に卒回の数字のみを入力ください。
(カイトツ、ネンカイ等の文字は必要ありません。)

例) 全日制の方の場合 00アオヤマタロウ

通信制の方の場合 ツ00アオヤマケンジ

がんばれ青山収支報告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

(単位: 円)

科 目	決算額	主な内訳
寄 附 金	1,222,000	
雑 収 入	20	
収入合計	1,222,020	
支 援 費	70,000	贈呈金 (5,000 円×生徒 14 人)
支出合計	70,000	
収支差額	1,152,020	
前 期 繰 越 金	2,215,611	
次 期 繰 越 金	3,367,631	

令和3年2月8日に「がんばれ青山」口座より70,000円を支出し、新潟高校へ贈呈したことをご報告します。

PTA会長あいさつ

米山 一史 (101回) '93卒



活の充実を心配しておられることと存じます。しかし、今年度は各部活動の大会も観戦など一部の制限はあるものの開催され、青陵祭も6月に無観客で開催され、活動の幅は確実に広がっています。生徒達はコロナ禍に怖じ気づくことなく、愉しく、一生懸命に目の前の課題に取り組んでいますので御安心下さい。

今年度は平素のPTAの活動に加え、来年の新潟高校創立百三周年記念事業に向けた準備が始まります。私は平成4年の新潟高校創立百周年記念式典に生徒として

この度、令和3年度の新潟高校PTA会長に選任された米山一史と申します。久しぶりの母校との関わりの機会を頂き身が引き締まる思いであります。

同窓会の皆さまにおかれましては、コロナ禍での生徒達の高校生

出席しました。式典では経団連会長等の要職を歴任された斎藤英四郎さんが講演をされました。当時80歳を越えておられたと思いますが、その表情は力強く、優しさや自信や誇りに満ちており感銘を受けました。

当時から30年経ち、百三周年事業に関与の機会を頂き、百周年で受けた感銘に改めて思いを致すとともに、この事業が同窓会を中心とした先人達の努力を祝し、この学校での生徒の学びが未来に続いていく礎を確認する機会であると理解しました。同事業の成功に向けてPTA会長として最大限尽力していきますので、同窓会の皆さまのお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

同窓会の皆さまにおかれましては、コロナ禍での生徒達の高校生

卒業アルバム寄贈のお礼並びにお願い

会長 敦井 榮一

「卒業アルバムご寄贈のお願い」をしておりまゝところ、「64回卒業アルバム」を清水良男様からご寄贈いただきました。

思い出の詰まった大切なものをご寄贈いただき、感謝申し上げます。同窓会にて大切に保管いたします。

大変ありがとうございました。

引き続きではありますが、下記の学年及び旧制中学の卒業アルバムをお持ちの方は同窓会にご寄贈を検討ください。

49回、50回、51回、52回、53回、54回、
57回、69回、71回、85回、95回、98回、
99回、100回、101回

ご寄贈いただける方は、青山同窓会事務局まで連絡をお願いします。

TEL/FAX 025-266-5268

メール niigata_aoyama@yahoo.co.jp

各地 青山同窓会

「東京青山同窓会ミニ総会・幹事会」報告

2020年11月28日 都内会場にて。

事務局長 工藤 義夫 (74回) '66卒

コロナ禍の2020年は、恒例の6月の総会・新人歓迎会は取止めに、新人生と会員ともどもリアルに会えることもなく過ぎた。また、東京会では偶数月の第2火曜会も2月開催を最後に途切れている。秋のカジュアルな会もお会も然りで、1年を通じて会も自粛が

続いた。2021年もまだまだむずかしそうだった。

それでも、何とか、2020年11月には、ミニ総会兼幹事会を有志で開催し、運営状況の確認を行った。事務局と有志幹事等10人ほどが集まり、ひととおり、会務報告・会計報告(中間状況)を行い、今後の対応を諮った。また、池一副会長(74期)が療養にて辞し、後任副会長には大滝均(74期)氏を推挙し承認を得た。

敢えて、Zoom会議などではなく、リアルで、しかし感染には配慮して、広い会場・マスク着用・飲食なしにて敢行、1時間半ほどで締めくくった。1年に1回でも、何とか会って話せたのは幸いだった。何だか何年も会ってなかったような懐かしさを感じた。今は深く静かに潜航しつつも来たるべき「晴れ」のリアルな会までは、みなしぶとくサバイバルして静かに準備して行こうと思う次第である。

実は、2020年総会からは、新たな試みを行う予定だったのに、ちよいと出鼻をくじかれたものの、従来よりもっと楽しい会と趣向をこらして試行して、以降は各期輪番で続けて行こうかなとお試しの始まりだったが、あくまでも数年繰り下がるだけなのでめげずにトライして行こうと思案中。

各期の有志(各期学年幹事は実質は有名無実の状態だ)に代って、現在の各期有志を募って継承してゆきたいと夢想している。初回を担う90期生の開催の成否が好スタートになることを願っている。会報などで同窓会への興味をもってもらい、次の総会には、大いに盛り上げて多く参加できるように呼びかけてゆく。



2020東京青山同窓会<縮小総会&幹事会> コロナ禍開催 ~ 11月28日(土)・台東区センター
大滝 均/74 星野紹英/84 山田敏昭/89 森 豊/90 渡邊修也/90 高山佳郎/83 坪井俊樹/90 工藤義夫/74
佐藤 茂/77 日下部朋子/82 尾口優子/102

同窓生訪問

「庭屋一如研究会」主宰
藤井哲郎さん(84回) '76卒を訪ねて

小山 佳子 (88回) '80卒
坂井奈津子 (96回) '88卒



今回の同窓生訪問は、藤井さんがセミナー講師を務められている旧齋藤家別邸に赴きました。恥ずかしながら「庭屋一如」という言葉を知らなかったのですが、「柱を細く、庭との境界となる壁を少なくし、建具を開け放つと庭と建物が一体化する」という概念の言葉です。まさにこの場所、旧齋藤家別邸は「庭屋一如」の空間と言えます。さて、藤井さんかどのような活動をされているかといいますと、この概念のもと、庭と建物を一体的に見る鑑賞講座の講師をされているらしいです。庭は庭、建物は建物と分けて解説する事が殆ど

の昨今、藤井さんの鑑賞講座は唯一無二のものとして注目を集めています。今では、講師だけでなく、県内外のお屋敷見学ツアーの企画(発起人として広域観光企画にいがた庭園街道)や非公開民家の同日公開企画「上越名家一斉公開」の立ち上げ、邸園ガイドの養成等もされており、活動の幅が年々大きくなっています。一方、高校時代はどのような学生生活を送られていたのかといいますと、自称引きこもりで、部活に所属することも無く、静かに過ごされていたそうです。地域や行政を巻き込むほどの積極的な活動の数々をお聞きした後に、引きこもり!?と耳を疑いましたが、「趣味の世界となると全く別です!!」とさっぱりとおっしゃいました。こんなにも楽しいことを多くの人に知って欲しいという思いが活動の源で、考えているとワクワクして夜も眠れなくなるくらいです。そもそも庭園や和風建築に興味を持ち始めたのは、仕事で京都に行き来していた20代からなので、高校時代に古文の勉強をきちんとしなかった事を少し後悔されているそうです。それまでは趣味の範囲だった庭園鑑賞ですが、2012

年、旧齋藤家別邸一般公開に先立ち募集されたボランティアガイドへの応募を機に気持ちが大きく変化しました。多い時は年に100回以上も庭園に通い、もっと「庭屋一如」の魅力伝えられるガイドをしたのの思いが徐々に強くなったのです。2015年からは独自の鑑賞講座やツアーを始め、開催した数はすでに350回以上になります。私共もお話を伺った後に、藤井さんに庭園を案内していただき、とても幸運な経験となりました。もともと他の庭園も鑑賞したくなる素晴らしいお話であることは勿論のこと、穏やかな話しぶりが和風建築やお庭に調和し、その点も人気の秘密だと感じました。新潟県は明治・大正時代にとっても豊かで、豪農・豪商・石油王らが競って庭園を造った庭園王国であることを存じでしょうか?遠出が出来ない昨今、身近なお屋敷・庭園を見に行くのもお勧めです。最後に、同窓生訪問のために時間を割いていただき、旧齋藤家別邸と北方文化博物館新潟分館を案内してくださいましたことに感謝申し上げます。益々のご活躍を祈念致します。

内してくださいましたことに感謝申し上げます。益々のご活躍を祈念致します。

坂井記

(追記)

藤井さんのお話を伺っているうちに、今の季節さぞかし緑が美しいであろう庭園をどうしても見たくなかった私は、インタビュから四日後、「上越名家一斉公開」に出かけてきました。山の中、道路からその名家の玄関までの道は高く太い杉並木。屋敷に入り奥座敷の正客の座から見る庭園は広々とした静かな空間。藤井さんのお陰で「庭屋一如」の鑑賞ができたように思います。日頃多忙な青山同窓のみならず、大人の休日にも新潟の素晴らしい庭園を巡ってみるのも癒されます。お勧めします。

小山記

庭屋一如研究会の活動についてはこちらを御覧ください

Facebook

<https://www.facebook.com/teikuchinyo/>

teikuchinyo/

同期会報告

傘寿記念第17回青山68会展

片桐 靖孝 (68回) '60卒

令和3年1月17日(日)16時、世界中がコロナ禍に飲み込まれ日本国中も同様の中で、幹事長である田中宣男君の指揮の下、何回もの打ち合わせやその間の幹事会を重ね、1年間かけて慎重に準備を整えて実施にこぎつけた「傘寿記念第17回青山68会展」トワイライト

アート」の5日間が雪の降り続く中、無事成功裏に終了しました。関係者一同、ほっと胸を撫で下ろしながら、17年間続けてきたこの同期の行事を振り返り、達成感と充実感に浸りながら、後始末に取りかかりました。思えばもう80歳?…定年後に始めたこの「68会展」は、回を重ねるごとに参加者同士の団結力が増し、一人ひとりの向上心も増大し、卒後イベントの重要な一つとなつて今日に至りました。開催期間中の新潟市美術館は、丁度「きかんしゃトーマス」原作出版75周年・ソドー島の仲間達が教えてくれたこと展が同時開催で、親子連れが多く館内を歩いている。受付係が「青山68会展」に呼び込むと、子供が若松昌弘君の作品である「能面」に興味を示して、マスクをした若夫婦が手を引かれて入ってくるという具合の場面が多くありました。出品者15人の自画像と作品群(55点)は、見にくれた方々からはとても良い評価を頂いたと感じ

ています。特に、3年前に、まとめ役の田中宣男君から「作品提出者の自画像も一緒に飾ろう」との提案で始めた自画像は、各自の技術力と向上心を高め、色の工夫や構図の工夫が画面にも溢れていました。最後に幹事長に今回の感想を聞いてみると、「何よりコロナ禍の中でも継続成し得て良かった。期間中の来訪者はおよそ300人くらいだった。最後まで心配が付いてまわったが、信じてやり遂げた満足感がある。」。当にラジオネームをつけて投稿してみたい。すると5分程で、自分が作った文章がラジオから聴こえてきたではないですか。驚きとともに、凄く嬉しくなりました。その時をきっかけに、とにかくあらゆるラジオ局の番組に投稿する



ラジオとの出会いと私

山川 信明 (通26回) '84卒

私とラジオの出会いは今から7年前、52歳の時でした。仕事の帰路に何気なくFM P ORTという局を聴いていました。女性パーソナリティが「メッセー」お待ちしております」と言っていたので、携帯電話のメールで適

OB 会 報 告

青山ソフトテニスクラブOB会報告

関川 貴大 (119回) '11卒

「青山ソフトテニスクラブ」はソフトテニス部の卒業生で構成されています。

毎年8月14日に総会と同時開催されるのが、「ソフトテニスを楽しむ会」です。新潟高校のテニスコートをお借りし、新潟県内はもちろん、全国各地から集まったOB・OGに現役生も交えた交流試合が開催されます。2020年度は、感染症拡大防止の観点から中止となりました。例年であれば集

ようになりました。

投稿が日常的になってゆく中、番組特典でお菓子や映画のチケット等が当選することもあり、嬉しさや楽しさだけでなく、得をしているなど感じるようになりました。

ラジオには公開放送というものがあります。生放送の様子を観客として見ることができ、普段は声だけで聴いているパーソナリティやアナウンサーと直接お話しできたり、ラジオネームで投稿している常連の人たちと顔を合わせ、お話しできたりするのも楽しいもので、積極的に参加するようになりました。

ラジオという媒体を通して、自分の世界が今までとは違う広がりを持つようになりました。FM P O R T は閉局しましたが、現在は地元新潟にとまらず、コミュニティ

FM という放送局にリクエストと投稿することが日課となっています。

コミュニティFMは東京を発信地として各市区町村のFM局から放送するものです。よく投稿している番組が以前に一度、新潟のFM局から公開放送をしたことがあり、県外のリスナーさんも参加して来ていました。公開放送内で私のラジオネームが呼ばれると、まるで人気スターの様に拍手をされました。こういった、普段生活をしている場所や人付き合いの輪を超えた人との交流が、ラジオを通してよくありました。

しかし今はコロナ禍という事情があり、なかなかこうした人との交流が出来ない状況です。一日も早くコロナ禍が収束し、皆さんと集まりラジオ番組の収録や公開放送後のオフ会に参加し、盛り上がりたいです。

のラケットが流行していましたが、今は「一つや消しモデル」…まるで家具やアート作品?しかし、過去のモデルにはその良さがあり、OB・OG達が集結すると、同時に往年の名器たちも勢ぞろい。「こんなラケットあったな〜」と眺めることも、楽しみの一つです。競技から離れている会員の皆さん、どんなモデルであっても、ラケットとシューズがあれば、ソフトテニスができます。無性にソフトテニス

がしたい、そんな時が必ず来ますので、用具の保管やケアを忘れずに。現在、青山ソフトテニスクラブでは、先生方、そして石崎コーチの指導を中心に練習に励む現役生の支援を行っています。新潟県内のOB・OGは、微力ながら補助として練習に参加することもあります。頑張っている現役生のプ

レーを見ると、仕事もプライベートもやる気がみなぎってきます。活動が難しい状況が続いています。クラブで今できることを追求していきたいと思っています。皆さん、またお会いしましょう!



ボート部OB会 青山艇友会定時総会開催

幹事長 神林 正浩 (89回) '81卒

青山艇友会は令和3年3月13日(土) 新潟大学駅南キャンパスときめいとで定時総会を開催しました。

今回は新型コロナウイルス感染防止の観点から実出席とリモート出席を併用し、総勢15名の出席でした。本年は役員改選の年にあたり、渡辺研二会長、櫻井優副会長、井上聡副会長が再任され、新幹事に工藤裕人さん、新監事に三膳正伸さんが就任されました。井上副会長と工藤幹事は東京在住なので、首都圏のOB・OGと一層連携しやすくなるでしょう。

令和3年度事業・予算案等を確認し、母校後援としてコーチ支援およびOB現役昼食会の開催を確認しました。ちなみに昨年8月の昼食会では青空の下、艇庫前やすらぎ堤の芝生の上でOB現役45名がお弁当をいただきました。

顧問でOBの長谷川聡先生から部活動の近況報告があり、昨年10月の中部高校選抜大会は感染症防止対策を講じ、無事に参加できたそうです。

意見交換で、①会報・HPに加えてSNSを利用した情報共有

②スマホを使った会費の簡単送金の受取口座開設を検討依頼されました。このことは、若いOB・OGが気軽に活動に参画できるようにしてほしいという課題と受け止めました。

総会を振り返って、今回初めてリモート会議を活用しましたが、遠隔地からの参加があり嬉しかったです。反省点是一部音声が開き取りにくい場面があったことです。

出席者…渡辺研二(75)、大山哲司(76)、水沼真一(78)、櫻井優(80)、佐藤正昭(80)、三膳正伸(81)、井上聡(89)、神林正浩(89)、工藤裕人(90)、石橋純(92)、小林季子(93)、寺島健史(96)、長谷川聡(102)、佐野哲也(105)、勝木将人(118)。

最後に公式ホームページを開設して11年になります。現役・OBだけでなく父兄からも閲覧いただい

青山バスケットボールクラブOB会活動報告

塚野 真也 (86回) '78卒

令和2年度、バスケットボール部OB会の活動は新型コロナウイルス流行のためかなり制限されました。昨年度はインターハイが中止となり、県大会もありませんでしたので、3年生は最後の最後、青春の炎を燃やす場がないまま引退となりました。当然OBとして応援することもありませんでした。

その後1、2年生の新体制となつてからも練習を見に行くこともできず、学校に足を運ぶ機会がほとんどありませんでした。夏休みも短く、部活動の制限などもあり、O

Bが現役生と一緒にプレーをすることもほとんどなかった状況です。毎年1月のお正月に行われていた現役生を交えての新年会兼OB会は中止となりました。また毎年2月にOB会主催で県外チームを招待して開催されていた青山杯もできずしてしまいました。そのかわりに近隣のチームを呼んで2日間わた

り交流試合を開催いたしました。新型コロナウイルスによるパンデミックは、生徒達から大人である我々まで、健康面だけでなく、精神面でも大きな影響を与え続け



▲リモート出席者を囲んで撮影

ています。OB会での活動も制限され、OB同士で会う機会も少なくなりしました。当バスケットボール部の歴史は長く多くの卒業生を輩出してきております。このようなコロナ禍では人と人との絆というものの大切さを感じざるを得ません。団結するということが必要だと感じています。今まではOB会や青山杯などで直接顔を合わせておりましたが、今後この状況が続くことを考えますと、OB会ホームページを開設して会員同士の連絡を密にしていこうとも考えています。

来年はどのようなご報告ができるかわかりませんが、これからも本校バスケットボール部の発展およびOB会員同士のつながりを大切に活動していきたいと思っています。



令和2年1月3日、新年会でのOB戦にて

剣道部OB会 令和2年度の活動報告

青山剣友会 事務局代表 滝沢 俊一 (104回) '96卒

総会 毎年8月に実施しております

きました。

新年会 令和3年の新年会も総会
同様に中止となりました。

母校剣道部とOBの合同稽古会
毎月1回、新潟高校剣道場にて

現役生・OBを中心に実施しておりますが、令和2年3月以降実施を自粛しています。

議題である「令和元年度決算書及び監査報告」を会報に掲載し、会員に承認の有無を諮り、68通のご返信を頂きました。

また、総会同様に合同稽古会も中止とさせていただきます。

上記の通り、これまでに経験のない状況となっております。1日も早く日常を取り戻せることを願うばかりです。

特別寄稿

画家・佐善明さん (63回卒) を偲んで

神林 純夫 (65回) '57卒

佐善明さんは1936年に新潟市東大畑に生まれ、新潟小学校、寄居中学校を経て新潟高等学校に入学。学業の傍ら美術部部長として画才を発揮しつつ、バドミントン大会、さらに軽音楽部でクラリネットを吹くなど多方面に才能豊かな生徒だったようです。

1955年に新潟大学教育学部芸術科絵画科に入学すると、美術団体、新作協会展に出品して初入選を果たし、卒業後も入選を続け、新作協会展会員となり同審査員にもなります。さらに新人作家の登竜門と言える安井賞展にも4度の入選を果たしました。千葉大学工学部教授として教鞭をとり、日本美術家連盟、日本デザイン学会にも参加しています。

1990年10月14日NHK TV「日曜美術館」で同年東京庭園美術館で開催された「エドワード・ホッパー展」(ホイットニー美術館所蔵作品より)の特集があり、そのコメンテーターとして佐善さんが出演されました。(写真はその時の映像です)

その翌年1991年3月に、心不全のため千葉大学医学部附属病院で逝去されましたが享年54歳と余りにもお若く、本当に惜しまれます。

2020年12月、2021年4月まで新潟市美術館において、同館が所蔵する佐善さんの作品全12点を、初めて一挙公開されました。

『コレクション展Ⅲ クンシランの記憶 特集・佐善明』

2021年4月11日には、この展覧会を記念して同氏のご子息



佐善明「クンシランの記憶」1982年「新潟市美術館蔵」

同好会報告

青山鳥鷺の会令和3年度の活動

齋藤 繁夫 (77回) '69卒

名称 青山鳥鷺の会
青山同窓生と在校生(特に囲碁部員大歓迎。部員でなくても構いません)、現・旧職員とで、年に二回、囲碁を楽しむ会です。

*片方(鳥鷺の会だけ、懇親会だけ)の参加も可能です。

今年度例会

前期定期例会は例年八月に、後期定期例会は二月に開催しておりますが、今年度はウイルス対応のため両方中止とします。

会場 一昨年度までは、じよいあす新潟会館(中央区幸西3-3-1)でしたが、閉館となったため、次年度以降の会場を模索しています。

会員の推薦により、前述の会員条件に該当しない方も入会できます。後述の事務局まで、ご連絡ご相談ください。

当日の戦績に応じて対局者全員にもれなく日本棋院グッズ(棋士揮毫扇子・採譜用紙・日本棋院二色ボールペン・詰め書の小冊子など)を差し上げます。

入会費・年会費無料です。

会長 小沢啓志(66回生)

会員数 現在40人 会員募集中

会費と日程

鳥鷺の会 昼食付き二千円

10時~15時半 (在校生は千円)

懇親会 飲み放題四千円

15時半~17時半

連絡先

025 (386) 1560

電話・FAX共用

青山鳥鷺の会事務局

齋藤繁夫(旧職員・77回生)

*再開がいつになるのか、会場はどうするか、課題山積です。同窓諸兄のお知恵を賜れば幸いです。

このような状況ではありませんが、入会ご希望の方は事務局までご連絡ください。

2021年4月11日には、この展覧会を記念して同氏のご子息

佐善明「クンシランの記憶」1982年「新潟市美術館蔵」

その翌年1991年3月に、心不全のため千葉大学医学部附属病院で逝去されましたが享年54歳と余りにもお若く、本当に惜しまれます。

2020年12月、2021年4月まで新潟市美術館において、同館が所蔵する佐善さんの作品全12点を、初めて一挙公開されました。

『コレクション展Ⅲ クンシランの記憶 特集・佐善明』

2021年4月11日には、この展覧会を記念して同氏のご子息

佐善明さんは1936年に新潟市東大畑に生まれ、新潟小学校、寄居中学校を経て新潟高等学校に入学。学業の傍ら美術部部長として画才を発揮しつつ、バドミントン大会、さらに軽音楽部でクラリネットを吹くなど多方面に才能豊かな生徒だったようです。

1955年に新潟大学教育学部芸術科絵画科に入学すると、美術団体、新作協会展に出品して初入選を果たし、卒業後も入選を続け、新作協会展会員となり同審査員にもなります。さらに新人作家の登竜門と言える安井賞展にも4度の入選を果たしました。千葉大学工学部教授として教鞭をとり、日本美術家連盟、日本デザイン学会にも参加しています。

1990年10月14日NHK TV「日曜美術館」で同年東京庭園美術館で開催された「エドワード・ホッパー展」(ホイットニー美術館所蔵作品より)の特集があり、そのコメンテーターとして佐善さんが出演されました。(写真はその時の映像です)

その翌年1991年3月に、心不全のため千葉大学医学部附属病院で逝去されましたが享年54歳と余りにもお若く、本当に惜しまれます。

2020年12月、2021年4月まで新潟市美術館において、同館が所蔵する佐善さんの作品全12点を、初めて一挙公開されました。

『コレクション展Ⅲ クンシランの記憶 特集・佐善明』

2021年4月11日には、この展覧会を記念して同氏のご子息

佐善明「クンシランの記憶」1982年「新潟市美術館蔵」

その翌年1991年3月に、心不全のため千葉大学医学部附属病院で逝去されましたが享年54歳と余りにもお若く、本当に惜しまれます。

2020年12月、2021年4月まで新潟市美術館において、同館が所蔵する佐善さんの作品全12点を、初めて一挙公開されました。

『コレクション展Ⅲ クンシランの記憶 特集・佐善明』

2021年4月11日には、この展覧会を記念して同氏のご子息

佐善明さんは1936年に新潟市東大畑に生まれ、新潟小学校、寄居中学校を経て新潟高等学校に入学。学業の傍ら美術部部長として画才を発揮しつつ、バドミントン大会、さらに軽音楽部でクラリネットを吹くなど多方面に才能豊かな生徒だったようです。

1955年に新潟大学教育学部芸術科絵画科に入学すると、美術団体、新作協会展に出品して初入選を果たし、卒業後も入選を続け、新作協会展会員となり同審査員にもなります。さらに新人作家の登竜門と言える安井賞展にも4度の入選を果たしました。千葉大学工学部教授として教鞭をとり、日本美術家連盟、日本デザイン学会にも参加しています。

1990年10月14日NHK TV「日曜美術館」で同年東京庭園美術館で開催された「エドワード・ホッパー展」(ホイットニー美術館所蔵作品より)の特集があり、そのコメンテーターとして佐善さんが出演されました。(写真はその時の映像です)

その翌年1991年3月に、心不全のため千葉大学医学部附属病院で逝去されましたが享年54歳と余りにもお若く、本当に惜しまれます。

2020年12月、2021年4月まで新潟市美術館において、同館が所蔵する佐善さんの作品全12点を、初めて一挙公開されました。

『コレクション展Ⅲ クンシランの記憶 特集・佐善明』

2021年4月11日には、この展覧会を記念して同氏のご子息

佐善明「クンシランの記憶」1982年「新潟市美術館蔵」

その翌年1991年3月に、心不全のため千葉大学医学部附属病院で逝去されましたが享年54歳と余りにもお若く、本当に惜しまれます。

2020年12月、2021年4月まで新潟市美術館において、同館が所蔵する佐善さんの作品全12点を、初めて一挙公開されました。

『コレクション展Ⅲ クンシランの記憶 特集・佐善明』

2021年4月11日には、この展覧会を記念して同氏のご子息

佐善明さんは1936年に新潟市東大畑に生まれ、新潟小学校、寄居中学校を経て新潟高等学校に入学。学業の傍ら美術部部長として画才を発揮しつつ、バドミントン大会、さらに軽音楽部でクラリネットを吹くなど多方面に才能豊かな生徒だったようです。

1955年に新潟大学教育学部芸術科絵画科に入学すると、美術団体、新作協会展に出品して初入選を果たし、卒業後も入選を続け、新作協会展会員となり同審査員にもなります。さらに新人作家の登竜門と言える安井賞展にも4度の入選を果たしました。千葉大学工学部教授として教鞭をとり、日本美術家連盟、日本デザイン学会にも参加しています。

母 校 は 今

教育実習を振り返って

教育実習生 志田 恭一 (125回) 17卒

私は物理の教育実習生として2週間実習をさせていただきました。指導教諭の田平力也先生をはじめとして、多くの先生方のご指導のおかげでとても充実した2週間を送ることができました。

実習初日、1年3組のショートホームルームにて生徒たちからとてもとても熱い歓迎をうけました。誠意をもって実習に臨むことで、歓迎してくれた生徒たちに報いなければと奮い立った瞬間でした。

しかし私の思いとは裏腹に、生徒に誤解なくわかりやすく伝える授業を作り上げることは難しいことでした。やればやるほど自分の教員としての未熟さと、教員として自分の発する一言一句の背負う責任の重さに気づかされました。生徒の思いがけない質問で自分の授業の弱点を見つけることができた、多くの先生方から授業内容に対するフィードバックや励ましの言葉をいただいたおかげで、最終的には実習開始当初より一段階も二段階も良い授業を作り上げることができました。

教育実習を振り返って

教育実習生 笹川 理湖 (126回) 18卒

私は、数学科の教育実習生として、2週間教育実習をさせていただきました。

私は1年生の授業を担当させていただきましたが、実際に授業を行ってみると、その時々の生徒の反応や理解度に応じて授業を行うことの難しさを実感しました。授業で生徒に発問を投げかけると、予想に反する答えが返ってくることも多く、その時は内心かなり焦りました。しかし、焦っている暇

はなく、今度はその生徒から答えを引き出すために、さらにどう発問すればよいかを考えなければならず、臨機応変に対応することの難しさを痛感しました。それでも、生徒から解答を引き出した時は大きなやりがいを感じ、徐々に授業での生徒との対話の時間を楽しくめるようになりました。生徒の「分かった!」を引き出せることが、

こんなにも嬉しく、やりがいを感じることものだと、この2週間を通して学ぶことができました。最後になりますが、ご指導してくださった指導教諭の先生方、校長先生をはじめとする教職員の皆様方、生徒の皆さん、関わってくださったすべての方に感謝申し上げます。2週間本当にありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響による 母校の状況について(その3)

4月に昨年度できなかった応援歌練習を行いました。感染予防のためアリーナではなくグラウンド

で、いつもより一人ひとりの間隔を広く取り実施しました。3年の応援リーダーも声が通るよう精一杯の大声で、1年生も3年生の本気に対して本気で応えようとして声を出していました。最終日に2年生と合同での練習を行いました。3年生の粋な計らいで、1年生は早々に教室に帰し、2年生は居残り練習。昨年やっていなかった分としてながい「発声練習」をさせられ、厳しくも温かい先輩達の「かわいがり」を経験することができました。来年この2年生が最上級生として後輩をしつかり指導するようというメッセージが込められているようにも感じられました。



応援団の副団長に初めて女子が入りました。応援歌練習の各クラスの応援リーダー15名の中にも女子が多く入っており、女子生徒の在籍数が全校の約半数となつてい

るのを反映してか、世の中の世相を反映してか、ジェンダーレスの傾向が顕著になってきています。部活動の地区大会、県総体等は感染予防に最大限の配慮をしながら実施しました。様々な制約はありながらも実施できたことは何よりでした。青陵祭を二年ぶりにエコスタで実施しました。本校のグラウンドでは密になるため広いスタジアムを借り上げ、感染予防に配慮しながら無観客で行いました。場所は変わってもこれまでの伝統を絶やさないよう3年生が知恵を絞って、生徒会を中心に入念な準備をしてみごと成功裏に終わりました。2年ぶりに全校生徒による「丈夫」斉唱が行われ、千人余りの声がスタジアムに響き渡った時には、感慨深いものがありました。(6月15日現在)

職員の異動

令和3年4月

〈退職 転出(転出先)〉

副校長 植木 勲

教諭 押木 和子 (新井高校 校長)

山田 睦雄 (三条高校)

鈴木 健一 (小出高校 教頭)

宮澤 寛

〈県立教育センター 指導主事〉

小林 伸輔

三村 秀夫 (新潟翠江高校(通))

武田 道弘 (村松高校)

大関 祥子 (退職)

渡辺 和彦 (新発田農業高校)

事務長 長井 亮 (吉田高校)

庶務係長 佐伯 千佐 (県立教育センター)

非常勤講師 西沢 稔 (任期満了)

仲田 彰夫 (任期満了)

養護教員 榎木 千夏 (採用(燕北小学校))

〈転入(前所属)〉

教頭 渡邊 孝弘 (新潟江南高校)

教諭 阿部見和子 (巻高校)

山中 美紀 (豊栄高校)

國島 聡 (三条高校)

佐藤 大介 (中条高校)

小林 智隆 (新津高校)

梅田真由美 (新発田南高校)

大関 祥子 (新潟高校)

高井 香織 (燕中等教育学校)

押木 洋 (長岡高校)

湊元 弘昭 (新発田南高校)

事務長 佐藤 政彦 (総務事務センター 福利厚生室)

庶務係長 石川 雅代 (新津南高校)

非常勤講師 小川かほる (新規)

養護教員 山田 明実 (新規)

事務補助 早川 純子 (4月末まで)

令和3年度入試結果

進路指導部長 稲又 晋矢（99回）'91卒

＜令和3年3月卒業生の入試結果について＞

今年度から導入された大学入学共通テストは、従来のセンター試験に比べて多くの文章や資料を読ませて考えさせる、いわば応用力を問う方向になるなど大きく変わると言われていました。ところがふたを開けてみれば想定したよりも小幅な変化で、従来のセンター試験と同様の問題も出題されていました。また平均点も下げると予告されていましたが、結果としては社会と理科で得点調整があったものの、得点調整前では文系理系の5教科の平均点ではともにほぼ前年度並み、得点調整をした後では、センター試験の時よりも微増となりました。本校生徒も変化に十分対応し、例年並みかむしろそれ以上の成績でした。したがって、本校としても基本方針は昨年度と変えずに今後も対応していけるものと考えております。

大学進学率も良好な結果でした。本校では難関大学や医学部医学科などを志望する生徒も多く、医学部は2浪まで考えてと指導している関係で、進学率自体では例年6～7割の範囲内となっておりますが、今年度は72.7%と過去10年で最も良い結果となりました。（理数科生徒だけでみると、やはり過去10年で最高は73.4%でした。）生徒達も決して安全志向だったわけではなく、コロナ禍にあっても自分の将来を見据えた進路選択をして高い志望を持ち続けた生徒が多く、頑張って第1志望の合格を果たす生徒が多かった受験となりました。国公立大合格率の方でも例年よりも極めて高く、前期＋後期＋総合型選抜＋学校推薦型選抜の延べ受験者数404人のうち、国公立大学合格者数が201人で合格率は49.8%でした。こちらも過去10年間で最高でした。新潟大の合格者数をみると、前期試験は52人中32人が合格（62%、前年度＋14%、後期試験は17人中13人が合格（76%、前年度＋38%）となり、やはり合格率は非常に高い結果となりました。

私立大の入試は、受験者数が大幅に減りました。これはコロナ禍の影響で県を跨いだ移動を避ける生徒が多かったことと、大学側が地方受験会場の感染対策に苦慮した結果、地方

受験を中止したことが大きな要因であると思います。これは本校だけでなく全国的に同じ傾向が見られました。大手予備校の調べでは、主な私立大の総出願者数は前年度比で12%減の88%であったとのことでした。

現役の難関大の結果につきましては、文系・理系ともに健闘してくれました。旧帝大と東工大・一橋大そして医学部を含めた結果は、現役生のおよそ4分の1の90名の合格、早稲田大19名・慶應義塾大16名を含めると全体で125名となり、現役生のおよそ3分の1が難関大に合格しました。

医学部医学科も良好な結果が示されました。国公立大学医学部医学科の合格者率が50%の28名で、こちらの方も過去10年で最高でした。浪人生が15名合格しており、現浪込みで43名が合格しました。この合格者数は週刊誌の報道によると、公立高校の中では全国で5番目であったそうです。

今年度の入試で、初めて東京大学に学校推薦型選抜で合格する生徒が出ました。東大の推薦は出願に向けたハードルが高めに設定されることが多いのですが、そこをさえクリアできれば、自分の意見を自分の言葉で語れる生徒が合格していくことが多いようです。面接練習をたくさんして仕込まれた生徒より主体的に語れることが必要条件ですので、むしろ本校の生徒に向いているのではないかと考えたりもしています。東大を第1志望にする生徒には選択肢の一つとしてほしいと思っています。

＜最後に＞

この3月の卒業生は、初めての大学入学共通テストが導入されて大きく入試が変わるなかで、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、苦しい状況下で本当によく頑張ってくれたと思います。たくさんの「過去10年で最高」の数字を出してくれました。今後も新潟高校として生徒の進路希望達成に向けて、意識啓発の講演会や具体的な受験指導等、最大限の努力を継続していく所存です。青山同窓会の皆様方からも、引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、何とぞお願い申し上げます。

主な大学合格者数（現役合格者延べ数）

大学名	国公立大学							
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
北海道大	14	6	7	10	7	12	5	10
旭川医科大	0	0	0	0	0	0	0	0
東北大	31	21	30	16	24	19	18	28
秋田大	4	1	2	3	3	3	3	1
山形大	1	2	4	2	4	3	3	4
筑波大	15	4	6	3	8	7	9	12
埼玉大	1	2	2	0	3	4	1	2
千葉大	8	5	7	5	5	5	6	7
東京大	12	7	11	3	11	8	3	9
東京外国語大	6	1	3	1	5	2	2	2
東京学芸大	4	2	3	0	3	8	5	3
東京工業大	0	1	1	3	1	4	1	3
東京農工大	2	1	2	1	1	2		0
お茶の水女子大	3	3	6	1	1	1	1	2
電気通信大		0	3		1	1	2	1
一橋大	3	2	2	5	2	3	2	3
横浜国立大	3	6	0	5	4	4	6	7
新潟大	53	55	55	49	52	53	63	53
長岡技術科学大								
富山大	4	1	4	3	4	3	3	4
金沢大	8	2	5	7	7	2	10	8
信州大	1	1	2	1	2	2	2	2
静岡大					0	1		
名古屋大	1	2	2	0	1	0	1	1
京都大	7	4	3	4	6	4	5	8
大阪大	1	3	3	0	2	1	6	2
神戸大	1	1	0	1	0	2	1	2
九州大			0	1	1		1	1
東京都立大	2	2	1	0	1	6	4	1
横浜市立大	0		2		1	0	3	1
新潟県立大	7	7	13	2	13	10	9	4
静岡県立大	0		0	0	0			0
大阪府立大			1		0			
大阪市立大					0		1	
その他	16	13	14	12	23	9	14	20
合計	208	155	194	138	196	179	190	201

大学名	私立大学							
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
早稲田大	28	18	16	23	13	16	19	19
慶應義塾大	10	7	9	11	15	9	14	16
明治大	37	35	18	26	26	22	38	26
立教大	13	8	12	12	11	10	22	5
法政大	26	12	26	20	13	19	29	7
青山学院大	17	7	9	9	8	1	7	8
学習院大	3	1	1	2	3	0	5	2
北里大	1	6	5	6	7	2	6	5
国学院大	1	2	2	3	4	4	2	2
国際基督教大	1	0	5	2	2		1	1
駒沢大	7	3	3	1	4	3	4	1
自治医科大	1	0	0	1	3	0	0	0
上智大	6	12	8	9	5	6	7	3
成蹊大	6	0	1	1	5	1	2	2
成城大	1	1	2	0	2		1	4
専修大	4	2	2	2	4	2	4	12
玉川大	2		2	0	0		1	
中央大	42	15	43	33	31	40	40	38
津田塾大	13	4	4	5	4	1	4	1
東海大		3	2	3	3	0	6	10
東京農業大	6	10	5	5	10	8	20	8
東京理科大	17	13	10	16	15	9	24	17
東京薬科大	3		1	0	1			1
東京女子大	2	2	7		4	5	3	3
東邦大	1	1	2		1		1	1
日本大	12	4	19	6	5	5	7	8
日本女子大	4	4	3	4	3	1	4	2
明治学院大	2	5	5	1	2	1	2	4
文教大	4	0	3	1	1	4	0	2
神奈川大	3	1	3	0	1	1	2	1
新潟薬科大	7	10	6	4	5		4	6
同志社大	7	3	10	7	6	7	11	19
立命館大	12	13	14	13	12	8	25	20
関西学院大	2	0	2	1	0	1	3	0
その他	59	40	68	59	43	45	78	66
合計	360	242	328	286	272	231	396	320

*空白は未受験、0は合格者0

令和2年度 青山同窓会会費納入者

(R 2. 4. 1 ~ R 3. 3. 31)

昨年10月より3月末まで納入いただいた方を掲載しております。昨年4月より9月末まで納入された方は前号に掲載済みです。

会費を納入していただきますと「青山同窓会報」を毎号お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまいます。

年会費 1口 1,000円。できるだけ2口以上でお願いいたします。手数料はご負担をお願いします。

振込先 【郵便振替口座】 00650 - 7 - 4455 青山同窓会
【第四北越銀行】 白山支店 普通口座 5008609 青山同窓会年会費

全日制	山 根 晴 子	佐 藤 彬	77回S44年	82回S49年	田 辺 慶 直	関 博 司	渡 邊 拓 真
50回S18年	64回S31年	中 野 久	井 上 博 夫	荒 川 育 子	時 田 英 夫	99回H3年	渡 邊 眞 子
勝 見 秀 也	小 菅 秋	西 尾 レ ン	遠 藤 良 二	太 田 宏 信	永 澤 春 人	水 澤 泉	128回 R2年
52回S20年	田 中 堅一郎	広 野 義 隆	木 村 哲 郎	小野本 美奈子	堀 内 貞 子	100回H4年	高 木 謙一郎
渡 邊 千 春	松 田 勲	渡 辺 赫 子	黒 山 薫	志 田 弘	前 田 晃 男	中 村 竹 志	
亘 隆	65回S32年	72回S39年	齋 藤 憲	西 巻 知佐子	森 屋 剛	101回H5年	通信制
53回S20年	相 田 稔	赤 川 洋太郎	清 水 道 雄	平 田 カオル	藪 崎 裕	伊 藤 静 香	3回S36年
宮 路 陽 一	風 間 美 禰	上 松 正 次	高 橋 康 一	星 野 憲 昭	山 田 明	今 井 慶 貴	川 端 欽 吾
55回S22年	小 林 亘	賀 井 寛	高 橋 康 夫	柳 本 利 夫	渡 辺 彩 子	小 林 あかね	8回S41年
片 岡 啓一郎	丸 山 一 敏	古 俣 慎 吾	中 矢 明	83回S50年	渡 邊 昇	増 井 隆 二	松 縄 清
星 井 正 春	宮 川 忠 和	齋 藤 古 志	長 井 健 司	植 木 秀 功	渡 部 智 明	米 山 一 史	9回S42年
56回S23年	村 木 利 夫	船 岡 信 雄	長 井 康	梅 津 雅 之	87回S54年	103回H7年	木 村 美 枝
江 口 直 禎	66回S33年	松 永 宏 五	野 澤 英之助	岡 田 潔	枝 並 勝 也	鈴 木 康 士	10回S43年
上 村 幹 雄	池 政 男	丸 田 堯	枅 山 健 一	小 澤 匡	押 木 洋	伏 見 千 尋	吉 楽 政 子
58回S25年	池 田 葵	73回S40年	渡 辺 隆	菊 池 正 俊	片 山 喜 弘	104回H8年	11回S44年
斉 木 利 雄	今 井 泰 博	岩 永 守 登	78回S45年	栗 林 仁	上 村 かおり	大 谷 茂	野 上 久美子
坂 井 熙 一	薄 田 芳 丸	大 原 敏 廣	相 沢 裕 吉	古 藤 卓	神 田 一 浩	横 木 剛	12回S45年
59回S26年	江 村 聖 治	尾 口 基	児 玉 英 樹	篠 田 伸 夫	栗 原 敏	105回H9年	庭 山 實
安 食 裕 夫	67回S34年	小 林 桂 子	関 川 久 男	田 宮 浩	酒 井 和 江	武 田 博 之	平 澤 信 子
五十嵐 哲 夫	桐 生 和 昌	齊 藤 昭 治	高 橋 綾 子	本 間 俊 一	佐 藤 展 之	108回H12年	三 國 吟 子
60回S27年	佐々木 邦 夫	田 島 健 三	水 沼 眞 一	町 田 昇	田 口 操	鈴 木 一 義	15回S48年
笠 原 功	塩 原 満	鶴 木 秀 司	水 野 亨	村 尾 弘 子	土 器 手 亘	111回H15年	小 松 朝 子
金 塚 尚	竹 内 正 明	南 波 祐 二	79回S46年	吉 田 徳 治	中 村 英 樹	長 澤 貴 明	保 莉 幸 子
杉 野 剛 博	渡 部 康	74回S41年	倉 田 由 美	吉 田 宏	藤 木 達 広	113回H17年	17回S50年
濱 田 達 三	68回S35年	五十嵐 由 之	小 池 康 義	84回S51年	88回S55年	坂 口 純 子	大 橋 恒 次
早 武 正 博	北 村 泰 作	鈴 木 勝 紀	佐 藤 玲 子	小 黒 志津江	石 原 基 規	波 多 野 雅 敏	22回S55年
藤 本 剛	駒 林 進四郎	関 口 賢太郎	鈴 木 正 昭	久須美 憲 二	大 橋 恵 子	116回H20年	高 橋 雪 枝
星 野 昇	佐々木 賢 介	坪 川 藤 夫	高 橋 淳 二	小 島 秀 子	小 池 真 理	佐 藤 憲 明	27回S60年
松 井 幸 彦	松 橋 英 夫	広 神 俊 彦	廣 嶋 顯	小 山 芳 明	藤 木 一 浩	118回H22年	栗 原 隆
水 野 哲 雄	渡 邊 千 艦	谷 内 田 健 次	若 槻 不 二 夫	浪 花 健 一	古 村 昌 子	会 田 俊 貴	永 野 正 人
矢 崎 芳 直	69回S36年	75回S42年	渡 辺 英 吉	廣 瀬 一 秀	吉 岡 潤	119回H23年	28回S61年
61回S28年	居 城 弘	石 橋 正 利	80回S47年	藤 岡 近 子	89回S56年	渡 邊 緑	星 野 きよ子
池 田 元 嘉	後 藤 宏	伊 藤 啓 司	阿 部 哲 夫	山 岡 比呂志	川 嶋 薫	120回H24年	31回H1年
小 池 弘	本 間 讓	岡 田 政 文	大 塚 善 紀	芳 川 敦 子	佐々木 裕 道	外 山 倫 成	菊 地 正 明
小 杉 秀 一	吉 野 國 夫	柿 坂 伸 子	杵 淵 信	85回S52年	山 田 敏 昭	渡 邊 広 樹	田 中 麻紀子
小 林 孝 司	70回S37年	白 鳥 十 三	近 藤 康 之	池 田 芳 彦	90回S57年	121回H25年	34回H4年
丸 山 建 吾	金 子 健 三	富 山 修 一	清 野 高 志	佐 藤 やよい	信 太 典 子	田 中 啓 太	斉 藤 幸 子
村 山 国 弥	栗 山 勝 博	野 崎 茂	津 野 正 裕	遠 山 知 良	白 須 洋 二	122回H26年	35回H5年
62回S29年	小 泉 和 代	森 邦 雄	堀 場 恵	逸 見 和 宏	田 辺 裕 美	押 木 淳	伊 藤 歌 余 子
梶 井 啓 右	齋 藤 忠 正	吉 川 恵 次	81回S48年	森 大 輔	埜 上 洋	123回H27年	38回H8年
齋 藤 健	弦 巻 烈	76回S43年	笹 川 典 男	森 知 之	91回S58年	稲 田 有 花	柿 崎 フミ子
三 國 龍 彦	戸 田 礼 子	伊 奈 良 重	杉 本 年 行	八 木 正	阿 部 見 和 子	124回H28年	39回H9年
63回S30年	丸 山 正	蔵 持 典 与	鈴 木 正 弘	若 林 昌 哉	95回S62年	田 中 爽 太	小 林 優 喜 江
間 潔	宮 原 卓	佐 藤 俊 悠	相 馬 一 文	86回S53年	河 原 俊	藪 崎 瑛 未	42回H12年
浅 野 康 一	71回S38年	佐 藤 悠	高 橋 知 子	阿 保 聖 子	福 田 仁 史	125回H29年	畔 柳 圭
金 川 博	大 野 義 彰	中 俣 正 美	武 田 正 之	五十嵐 裕 恒	66回S63年	石 川 愛 里	
加 野 英 資	小 杉 修 三	長 北 学	藤 沢 直 子	小 出 裕 子	石 賀 洋 介	126回H30年	
中 村 輝 一	小 林 昭 衛	西 沢 芳 樹	古 川 博 康	小 山 妙 子	江 部 則 行	本 山 翔 大	
松 井 光 一	小 林 碧	林 誠	本 間 大	島 田 久 基	97回H1年	127回H31年	
松 岡 京 子	坂 井 征一郎		本 間 寿 晴	関 川 賢 信	桑 野 一 美	伊 藤 和 花	

— 創立百三十周年記念事業 —

◆創立百三十周年記念式典・祝賀会の概要決まる◆

日時 令和4年10月15日（土）

◆記念式典…新潟高校 第1アリーナ

※式典は生徒のみの参加で同窓生は参加できません。

◆祝賀会…ANAクラウンプラザホテル新潟

※祝賀会お申し込みの詳細は来夏号（青山同窓会報115号）に掲載します。



◆百三十周年記念募金の開始を宣言◆

令和3年6月29日に開催された新潟高等学校創立百三十周年記念事業第1回実行委員会において、敦井同窓会長（兼創立百三十周年記念事業実行委員長）が声高らかに記念募金のキックオフを宣言されました。この募金は、ICT教育環境の整備充実を目的にしています。詳細は別添の募金趣意書をご覧ください。皆様のご協力をお願いします。

◆法人・団体の寄付もお受けいたします◆

寄付を下された法人・団体名を令和4年10月に開催される記念式典プログラム及び記念祝賀会プログラムに掲載させていただきます。会社の代表者、医療法人や弁護士・税理士等を開業されている同窓生並びに保護者の方々からのご厚志を心からお待ちしております。また、職場やクラブOB会等で「〇〇青山同窓会」を作って活動されている団体も多いと存じます。会合等がありましたら寄付のお声掛けを頂き、集まりましたご厚意につきましても喜んでお受けいたします。

<募金方法>

募金額	1口 5万円（1口以上）
振込先	第四北越銀行 白山支店 普通口座 5042670
口座名義	新潟高校創立130周年記念事業募金

詳しくは青山同窓会ホームページまたは事務局（1ページ参照）までお問い合わせください。

同窓会名簿について

今まで周年事業として同窓会名簿を発行してきましたが、今回、130周年名簿は発行いたしません。役員会で議論を重ねこの結論に達しました。

120周年名簿の作成では個人情報保護の観点から、郵送による2回以上の名簿データの確認など大変手間がかかったものの名簿の販売数の実績は伸び悩み、卒業生企業のご協力による広告費なども募りましたが、委託先業者様にはご迷惑をかけた決算でありました。

同窓会は名簿データの管理とアップデートが最大の業務と言って過言ではありません。紙の名簿は発行いたしません、引き続き名簿管理は続けてまいります。130周年を機に今までの名簿データ管理方法を見直し、きちんとしたルール（現在策定中）に則り進めてまいることいたしました。同窓生の皆様には何卒ご理解くださるようお願いいたします。

「住所等変更届」ハガキについて

「住所等変更届」ハガキを同封しました。ハガキを使用せず、メールでご連絡いただいてもお受けします。FAXはご遠慮ください。

○令和5年7月15日まで、切手を貼らずにお使いいただけます。令和5年7月16日以降は、恐れ入りますが所定の切手をお貼りください。

○いただいた情報は同窓会からのご案内を送付する以外では使用しません。

○原則として、同窓会会員からお問い合わせがあっても、個人情報をご本人以外には開示しません。ただし、東京青山同窓会、東北青山同窓会、関西青山同窓会、通信制部会、各期同窓会には情報をお伝えします。各事務局に提供してほしくない情報があればハガキにてお知らせください。

○郵便物の発送先を現住所以外にご希望の方はハガキにてお知らせください。

○変更のある方のみご記入の上ご返信ください。変更のない方はご返信の必要はありません。

～・～・～・～・～・～・～・～・～

今回、同窓会が管理している名簿データにおいて、日本国内在住で住所が判明している会員の皆様に会報をお送りしています。会報が届いていないお知らせがいらっしゃいましたら事務局までご連絡いただけるようお願いいたします。

青山同窓会 臨時総会並びに令和4年新年会のお知らせ（予定）

新型コロナウイルス感染症の状況等により変更もあり得ますが、現時点では下記の通り予定しています。

日時 令和4年2月17日（木）

午後6時から 臨時総会

午後6時30分から 新年会

詳細は次号会報に掲載いたします。